

総合政策部 政策調整室 政策課

1 組織、管理事務等の改正（令和4年度改正分）

令和4年度は、第5次総合計画に基づく「新しいまちづくり」のスタートに向けて、本市が直面する重要課題への取り組みを加速化させるため、総合的かつ横断的な組織体制の確立を図った。

(1) 重要課題への取り組みの推進

「市長公室」を廃止し、新たに「総合政策部」を創設するとともに、本市が直面する重要課題を集中的・戦略的に所管することにより、取り組みを加速化させる。

また、「総合政策部」に、政策業務及び秘書広報業務を担当する「政策調整室」と、人口減少対策、デジタル技術を活用したまちづくり及び急性期医療をはじめとする地域医療推進を担当する「未来戦略室」を置く。

ア SDGsの取り組みの推進

「政策課」に「SDGs推進担当」を置き、SDGsの取り組みを第5次総合計画によるまちづくりと一体的に推進する。

イ 若者のまちづくり課の強化

「若者のまちづくり課」に、人口減少対策に取り組む「移住・定住・少子化対策係」と、公民連携に関わる総合的・一元的な窓口として「大学・公民連携係」を創設し、若者を中心としたまちの活力を維持する取り組みを強化する。

ウ スマートシティの推進

「ICT推進課」を「スマートシティ推進課」「デジタル戦略課」に分け、さんだ里山スマートシティの取り組みのさらなる推進を図る。

エ 地域医療の推進

「市民病院改革プラン推進課」を「地域医療推進課」に改め、急性期医療をはじめとする地域医療提供体制の確保に向けて取り組む。

(2) 「共創」・「共生」・「再生」によるまちづくりの推進

ア 「共創」～地域を元気に～

「地域創生部」を「地域共創部」に改め、パートナーシップで取り組む協働・共創のまちづくりをさらに推進する。

イ 「共生」～地域にやさしい～

(ア) 「福祉共生部」を「共生社会部」に改め、多様性と調和による誰ひとり取り残さないまちづくりを推進する。

(イ) 「共生社会推進室」を「福祉共生室」に改め、次の取り組みを推進する。

a 「人権推進課」を「人権共生推進課」に改め、人権を尊重し多様性を認め合う共生社会を推進するとともに、同課に「女性活躍・多文化共生推進担当」を置き、「まちづくり協働センター」から男女共同参画及び多文化共

生施策を移管し、取り組みを強化する。

b 「地域福祉課」に「孤独・孤立対策担当」を置き、つながりをつくり孤独・孤立対策を総合的に推進する。

c 「生活支援課」を「暮らしの安心課」に改め、「まちの再生部」から市営住宅業務を移管し、市民が安心して暮らすことができる取り組みを推進する。

(ウ) 「健康推進室」を「健康共生室」に改め、「健康増進課」の係を廃止し、スタッフ制とするとともに、「新型コロナウイルス感染症対策担当」を置き、新型コロナウイルス感染症対策を総合的に推進する。

ウ 「再生」～地域を強く～

(ア) 「交通まちづくり課」に、次世代モビリティの対応を戦略的に推進する「交通企画係」と、市民の移動手段の維持確保を図る「交通調整係」を創設し、交通施策の充実強化を図る。

(イ) 「環境共生室」を「ゼロカーボンシティ推進室」に改め、次世代につながる住みやすい持続可能なまちづくりを推進する。

(ウ) 「用地課」を「用地対策課」に改め、地籍調査の取り組みを推進する。

(3) 子どもの学びを支える教育環境の整備促進

「学校教育部」に「学校再編担当」を置くとともに、「学校再編課」を創設し、学校再編に向けた取り組みの強化、推進を図る。

(4) その他の課題に対する対応

ア 危機管理体制の強化

「危機管理課」を「経営管理部」に移し、重層的に体制強化を図るとともに、同課に「防災・減災企画担当」を置き、公助の取り組みの強化と合わせ、自助、共助の取り組みの普及啓発により防災意識の高揚を図る。

イ 下水道施設の適正管理

「下水道課」の「施設係」を「整備係」と「管理係」に分け、老朽化や耐震化に対応する下水道施設の適正な管理体制を確立する。

2 庁議等

(1) 政策会議

各施策・事業の方針等に関する合議制による最高意思決定機関（開催36回、議題70件）

(2) 部長等連絡調整会議

意思決定事項について円滑に執行するための連絡調整を行う場（開催9回、議題51件）

3 まちづくり基本条例の具体化の取り組み

前年度（令和2年度）に実施した市民意見を聴く手続の実施状況について検証し、公表を行った。

(1) 三田市市政への市民参加条例の運用状況

ア 市民意見を聴く手続の実施状況

対象事項（7条）	市民意見を聴く手続（8条）
(ア) 市の憲章、宣言等 (イ) 市の総合計画その他市政における基本的な事項を定める計画等 (ウ) 市政における基本的な事項を定める条例 (エ) 義務を課し、又は権利を制限することを内容とする条例 (オ) 上記に掲げるもののほか、市民の生活に重大な影響を及ぼすおそれがあると市長等が認める制度、事業等	ア 附属機関 （公募・名簿委員の割合が3割以上） イ パブリックコメント （30日以上） ウ 意向調査 エ ワークショップ オ 公聴会 カ 意見交換会 キ その他の手続
<上記の例外> ・市税の賦課徴収その他金銭の徴収に関するもの ・市長等の裁量の余地がないもの ・市長等の機関内部の事務処理に関するもの ・関係法令の改正に伴う規定の整備その他軽易なもの ・緊急に行わなければならないもの	

【運用状況】

	第5次三田市総合計画	三田市文化芸術ビジョン	三田市立幼稚園再編計画
種別	基本的な計画	基本的な計画	市民生活に重大な影響を及ぼす制度等
区分	新規	新規	新規
作業期間	令和2～3年度	令和元～3年度	令和2年度
計画期間等	令和4～13年度	令和4～13年度	
市民意見を聴く手続	意向調査 ワークショップ 附属機関 パブリックコメント	意向調査 附属機関 パブリックコメント	意見交換会 パブリックコメント

	人権を尊重し多様性を認め合う共生社会を目指す条例	第8期三田市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画	三田市新ごみ処理施設整備基本計画
種別	基本的な条例	基本的な計画	市民生活に重大な影響を及ぼす制度等
区分	新規	新規	新規
作業期間	令和2～3年度	令和元～2年度	令和2～3年度
計画期間等		令和3～5年度	令和3～9年度
市民意見を聴く手続	意向調査 意見交換会 パブリックコメント	意向調査 附属機関 パブリックコメント	附属機関 パブリックコメント

	第3期三田市教育振興基本計画
種別	基本的な条例
区分	新規
作業期間	令和2～3年度
計画期間等	令和4～8年度
市民意見を聴く手続	意向調査 附属機関 パブリックコメント

イ 市政参加市民名簿の登録状況と活用実績

<名簿登録状況>

	発送数	登録者数				名簿登載期間 (条例上 2年以内)
		総数	男	女	備考	
令和元年度	3,000	279	156	123	令和3年3月末時点	令和3年7月末まで
令和2年度	3,000	252	147	105	令和3年3月末時点	令和4年11月末まで
計		531	303	228		

【市政参加市民名簿活用状況】

附属機関等に選任 15人
ワークショップ等 2件

ウ まちづくり提案

0件

(2) 三田市行政評価条例の運用状況

前年度（令和2年度）に市が実施した内容や結果をもとに、第4次三田市総合計画後期基本計画に規定する施策（30施策）について事後評価を行う。

しかしながら、令和3年度は、第5次三田市総合計画の策定過程で第4次三田市総合計画後期基本計画を検証しており、実質的に行政評価を実施したものとイえることから、行政評価の実施を見送った。

4 第5次三田市総合計画策定作業

令和4年度を始期とする第5次三田市総合計画について、令和2年度に引き続き策定作業を行った。

(1) 三田市総合計画審議会

ア 審議期間

令和3年4月26日（諮問）～令和3年12月15日（答申）

イ 委員構成

35人（有識者9人、団体選出15人、市民公募11人）

ウ 審議過程

	所管事項	開催日等		審議内容
全体会	<ul style="list-style-type: none"> 全体に関する事 基本構想に関する事 その他必要な事 	第1回	R3.04.26	<ul style="list-style-type: none"> 会議録の取扱いについて 総合計画審議会の概要と進め方等について 基本構想について
		第2回	R3.05.25	<ul style="list-style-type: none"> 基本構想について
		第3回	R3.06.28	<ul style="list-style-type: none"> 基本構想について 部会審議について
		第4回	R3.09.29	<ul style="list-style-type: none"> 基本構想及び基本計画の修正案について
		第5回	R3.10.04	<ul style="list-style-type: none"> 基本計画の修正案について
		第6回	R3.12.06	<ul style="list-style-type: none"> パブリックコメントの結果について 三田市総合計画審議会答申（案）について
第部1会	地域コミュニティ、人権、ICT、安全・安心等に関する事	第1回	R3.07.21	<ul style="list-style-type: none"> 各施策の審議 「人権・共生のまちづくり」、「行政経営」、「若者が集うまち」
		第2回	R3.07.26	<ul style="list-style-type: none"> 各施策の審議 「地域で支えるまちづくり」、「協働・共創のまちづくり」、「生活の安全安心・非常時への備え」
第部2会	福祉、健康、学校教育、社会教育、文化・スポ	第1回	R3.07.06	<ul style="list-style-type: none"> 各施策の審議 「地域医療の安心」、「健康づくり」、「高齢者の安心」

	ーツ等に関する こと	第 2 回	R3.07.16	・各施策の審議 「いつまでも学び、活躍できるまちづくり」、「障害のある人の安心」、「心つながる暮らしの安心」
		第 3 回	R3.07.20	・各施策の審議 「乳幼児期の育ち」、「子ども・子育ての安心」、「地域ぐるみの子育て」、「学校教育の充実」
第 3 部 会	都市計画、環境、産業、農業、観光等に関する こと	第 1 回	R3.07.09	・各施策の審議 「観光・交流・文化の振興」、「商工業の振興」、「農業の振興」
		第 2 回	R3.07.14	・各施策の審議 「まちの再生」、「良好な住まい」、「交通ネットワーク」
		第 3 回	R3.07.27	・各施策の審議 「水の保全」、「里山・自然の保全」、「持続可能な環境づくり」
総合戦略部会	第 2 期三田版総合戦略に関する こと	第 1 回	R3.08.18	・まち・ひと・しごと総合戦略について ・第 2 期三田版総合戦略骨子案について

(2) パブリックコメント

ア 募集期間 令和 3 年 1 0 月 2 5 日 (月) ～ 1 1 月 2 4 日 (水)

イ 閲覧方法 ① 三田市公式ホームページ「意見募集(パブリックコメント)」での閲覧

② 公共施設での閲覧 市役所(本庁舎 1 階ロビー・本庁舎 3 階政策課)、各市民センター、まちづくり協働センター、総合福祉保健センター

ウ 提出方法 ① 電子申請フォーム(Logoフォーム)

② 意見書(任意様式)

エ 意見件数 8 4 件 (1 1 人)

(ア) 計画素案を修正するもの 4 件

(イ) 計画素案を修正しないもの 8 0 件

※ 総合計画の施策推進上の参考とするもの 1 4 件

意見として伺うもの 6 6 件

(3) まちのイメージコピー投票

1 0 年後の三田の目指すまちのイメージが、より市民に身近なものとなるよう、策定プロセスに気軽に参加できる手法として、イメージ

コピーを投票により決定した。

5次総計の策定コンセプトである「共に創る」のもと、市民参加の一環として実施したものの。

【三田市総合計画策定パートナーズ】

第5次三田市総合計画の策定を通じて、若者がまちづくりに関わる機運を高めることを目的に、市内若手事業者や学生、市役所若手職員とともに、三田市総合計画策定パートナーズを結成し、市民ワークショップのファシリテーターとして関わるほか、まちのイメージコピー投票の企画運営など、第5次三田市総合計画を「共に創る」気運を高める活動を行っていただいた。

ア 投票の概要

(ア) 対象 三田市に関心がある方

- (イ) 投票方法
- ① ウェブ投票 電子申請フォーム「Logoフォーム」を活用した電子投票 ※市LINE公式アカウントと連携した投票形式で実施
 - ② シール投票 市役所（本庁舎1階ロビー）、各市民センター（9施設）、まちづくり協働センター、総合福祉保健センター、関西学院大学、湊川短期大学、イベント会場等で実施

(ウ) 投票期間 令和3年10月25日（月）～11月24日（水）

イ 得票数 4,976票

（ウェブ投票1,116票、シール投票3,860票）

ウ 各イメージコピー案の得票数

まちさと おとなり“さんだ”	723
あなたと夢を叶えるまち 三田	1,096
楽しいこと！ ^{さんださんだー} 三田産ター！！	1,144
魅力がたくさんだ、三田	1,427
〇〇、いいんだ、さんだ。	586
合計	4,976

エ 投票特典

- ① 2022→2032さんだ未来プレゼント
投票者の中から、厳正な抽選を経て、三田牛5千円相当の当選者32人を確定
- ② 2022→2032さんだ未来パス（投票割）
12月1日から同月末日までの期間、市内46店舗で優待サービスを提供

(4) 市議会（第5次三田市総合計画調査特別委員会）

ア 第5次三田市総合計画調査特別委員会

(ア) 設置 令和3年6月21日

- (イ) 委員構成 議長を除く議員 21 人
 - ① 幹事会 正副委員長、各分科会正副座長、会派代表 (10 人)
 - ② 分科会 各常任委員会委員
- (ウ) 第 5 次三田市総合計画 (案) に対する意見書
 - a 提出日 令和 4 年 1 月 13 日
 - b 件数 166 件 (修正 89 件、参考 77 件)
- イ 議案審議 (令和 4 年 3 月三田市議会定例会 (第 365 回))
 - (ア) 議案提案 令和 4 年 2 月 17 日
 - (イ) 議案審議 ① 令和 4 年 2 月 24 日
合同分科会、経営政策分科会、福祉教育分科会
 - ② 令和 4 年 2 月 25 日
生活地域分科会、幹事会
- (ウ) 議案表決 令和 4 年 3 月 29 日

秘書広報課

1 市長、副市長の秘書

- (1) 市長、副市長の日程調整及び随行
- (2) 市公式ホームページ「市長のページ」への日程、メッセージ等の掲載

2 渉外及び交際

(1) 三田市議員待遇者

三田市議会議員待遇者規則により、2期8年（通算）以上議員経験のある者に対し議員待遇者き章を贈呈し、規則に定める待遇を行う。

三田市議員待遇者数 21名

(2) 交際費（令和3年度執行状況）

内 訳	件 数	金 額
弔 慰	12件	123,200円
贈答・記念品	3件	16,162円
接 遇	0件	0円
会 費	2件	10,500円
計	17件	149,862円

3 市の儀式、叙勲、褒章及び表彰

(1) 市制記念式典

市制施行60周年までは、毎年7月1日の市制施行記念日に記念式典を開催し、あわせて三田市表彰の贈呈式を行っていたが、事業の見直しにより今後は節目の年に式典を行うこととし、令和3年度は式典を行っていない。

(2) 栄典（叙位、叙勲及び褒章）

地方自治功労に係る受章候補者の上申（春秋叙勲、死亡叙勲ほか）等を行う。

ア 叙勲・叙位

- (ア) 春秋叙勲 1件（家代岡 桂子）
- (イ) 死亡叙勲・叙位 0件
- (ウ) 高齢者叙勲 1件（梶原 和代）

イ 褒章 なし

(3) 三田市表彰、さんだチャレンジャーズアワード

三田市表彰規則に基づき、三田市表彰選考会を経て受賞者を決定し、表彰状及び副賞を授与する。平成30年度より市制施行60周年を記念し、新たな表彰制度「さんだチャレンジャーズアワード」を創設。

表彰選考会：令和3年6月1日（火）午後3時30分～（市長公室）

表彰式「感謝と飛躍へのつどい」:

令和3年10月1日(金)午後5時~市役所3階302会議室

令和3年度三田市表彰・さんだチャレンジャーズアワード受賞者(敬称略)

表 彰	功 勞・分 野	個 人	団 体
三田市さつき賞	自 治	池田垣 順一	
	社会福祉	平井 真由美	
	産 業	竹花 庄美	
	文 化		郷の音・市民コンサート 実行委員会
さんだ チャレンジャーズ アワード	スポーツ	岡田 蒼空	
	スポーツ	田中 美香	
	スポーツ	永田 光司	
	スポーツ	西岡 瞳	
	文 化	河合 美波	
	文 化		三田学園物理部 チーム「Re_x」
	文 化	古本 雄士	

4 市長会及び副市長会

令和3年度に市長及び副市長等が出席した主な会議

(1) 全国市長会／総会：年1回、全国都市問題会議：年1回

6月9日	第91回全国市長会議(通常総会)(オンライン開催)
10月7・8日	第83回全国都市問題会議(兵庫県・姫路市 中止)

(2) 兵庫県市長会／総会：年2回

4月27日	第1回総会(神戸市・ポートピアホテル 中止)
10月5日	第2回総会(オンライン開催)

(3) 阪神・丹波市長会／年1回

10月20日	阪神・丹波市長会(丹波市 中止)
--------	------------------

(4) 兵庫県副市長会／年2回

4月14日	第1回副市長会(書面審議)
8月20日	第2回副市長会(書面審議)

(5) 阪神・丹波副市長会／年2回

7月29日	第1回副市長会(書面審議)
-------	---------------

2月3日	第2回副市長会（書面審議）
------	---------------

(6) 県・市町懇話会：年2回

4月13日	第1回県・市町懇話会（神戸市・県公館）
1月31日	第2回県・市町懇話会（神戸市・県公館）

5 名誉市民

三田市名誉市民条例に基づき、公共の福祉の増進他の功績が卓絶する者に対して、議会の同意を得て市長が決定し贈る称号である。三田市名誉市民証及び三田市名誉市民章をあわせて贈呈する。また、市長は特に親善その他の目的で市の賓客として来訪した者に対し、三田市特別名誉市民の称号を贈ることができる。三田市特別名誉市民証及び記念品をあわせて贈呈する。

- (1) 三田市名誉市民 受章なし
- (2) 三田市特別名誉市民 受章なし
- (3) 過去の受章者

称号	年度	受章者
特別名誉市民	平成11	コリーン・カイクム氏（オーストラリア・ブルーマウンテンズ市）
		ジェリー・ウィリアムズ氏（アメリカ合衆国・キティタス郡）
		宋奉奎氏（大韓民国・北済州郡、現済州市）

6 広報誌の発行

広報誌「広報さんだ」を発行する

(1) 広報誌「広報さんだ」の発行状況

- ア 発行日：毎月1日に定期発行（年間12回）
- イ 内訳： 36ページ（全頁カラー 7回）
40ページ（全頁カラー 5回）

- ウ 規格：A4判冊子型
- エ 発行部数：48,500部（R4.3現在）
- オ 全戸配布数：46,940部（R4.3現在）

※配布については、三田市シルバー人材センターへの宅配委託事業で平成25年度から実施

(2) その他の媒体を使った広報誌の配布

- ア 市ホームページ
広報誌を掲載（PDFファイル）
- イ 声の広報
音訳ボランティア「ともしび」により、毎号の内容をCDに吹き込み、視覚障害者へ声の広報として届けている。

ウ 「ユニバーサル」 広報

市政情報やくらしの情報などを動画（音声・字幕・手話あり）で発信。
市ホームページに掲載するほか随時 Facebook への投稿を行う。また、上記イの音声データを市ホームページに掲載（R1.8～）。下記エも「ユニバーサル」広報の一環として導入。

エ 多言語対応アプリ「カタログポケット」

広報誌「広報さんだ」を9言語の音声読み上げ、自動翻訳するアプリを活用して配信。（R2.9～）

オ マチイロ

スマートフォンで各自治体の広報誌やニュースを閲覧できるアプリに、広報誌を掲載（PDFファイル）。

カ マイ広報誌

自治体等が発行する広報誌を記事ごとにデータ化（文字情報のみ）し、インターネットで無料配信するサービスに、広報誌を掲載（PDFファイル）。

キ HYOGO ebooks

兵庫県内の電子書籍を無料で閲覧できる、地域特化型電子書籍ポータルサイトに、広報誌を掲載（PDFファイル）。

(3) 広報モニター制度の活用

人数：公募の市内在住・在勤・在学の16歳以上 213人（R4.3現在）

内容：広報誌に対するアンケート回答

7 コミュニティFMラジオを活用した広報

(1) 広報番組（R4.3現在）

ア 「モリモリSANDA」

（第1水曜の18時～18時20分と同週土曜の10時～10時20分再放送）

森哲男市長が出演し、市政について分かりやすくお伝えする広報番組。

イ 「さんだ 学び・子育て情報局」

（第1・3月曜の12時～12時10分）

市職員が、子育てや教育に関する情報を分かりやすく話す広報番組

ウ 「三田歴史通信」

（第1木曜の15時10分～15時20分）

市職員が、三田市の歴史のこぼれ話・郷土学習に関する取り組みやサービスなどについて分かりやすくお伝えする広報番組

エ 「スマイル人権」

（第2木曜の15時10分～15時20分）

人権に関するイベントや啓発講座など、自己啓発のための情報をお届けする広報番組

オ 「校区すみからすみまで！」

(第1・3・5土曜の10時45分～10時50分、翌日曜の19時から19時5分と翌月曜12時45分～12時50分再放送)

三田市内にある全小学校(20校)の児童が、学校や校区のことを生放送で紹介する広報番組

カ 「賢い消費者になりましょう」

(第3月曜の15時10分～15時30分)

消費生活センターの相談員や市職員が、消費生活に関する話題を解説する広報番組

キ 「SUNだなヒト。」(令和4年1月から放送月が変更)

(偶数月第3火曜の15時10分～15時25分)

地域で活動されている市民にスポットを当て、地域の魅力とともに紹介する広報番組

ク 「さんだ「学び×体験」ナビ～とっておき！イベント情報～」

(第3水曜の15時10分～15時20分)

市が実施する、さんだで「学んで」・「体験」できる各種イベントを情報を紹介する広報番組

ケ 「教えて！スター☆シニア」

(第3木曜の15時10分～15時20分)

学びに！趣味に！仕事に！シニアがいきいきと活躍する姿や、健康に過ごすための情報をお届けする広報番組

コ 「こちら三田市消防本部」

(第4木曜の15時10分～15時30分)

消防本部職員が、日常の火災予防や応急手当の基礎知識などのほか、消防本部の取り組みについてお伝えする広報番組

サ 「Sanda-full SANDA来て！見て！寄って！さんだの魅力イチオシ情報」

(第4木曜の16時5分～16時15分)

魅力的な人・グループの活動、味覚、行事などの紹介を通じてさんだの魅力と元気をお届けする広報番組

シ 「備えあれば憂いなし」

(6月・8月・9月・1月の第2木曜の16時5分～16時25分、同月内に再放送有り)

地震や台風などの災害に対して、日頃の備えや対策などのポイントの紹介や、市が行う防災施策についてお伝えする広報番組

(2) 広報CM

「三田シティインフォメーションCM」

(毎日1回16時頃放送)

20秒間のスポット告知CMを放送し、市政情報やシティセールス推進を目的とした情報を発信
(月別に12種類)

8 ホームページ等を活用した広報

(1) 「ホームページ」

令和4年3月31日に、「知りたい情報を見つけやすく」をコンセプトに三田市公式ホームページをリニューアル。最新情報を分かりやすく発信、三田市の魅力を市内外に向けてPR。トップページに「サイト内検索」や「簡単手続き検索ナビ」なども配置し、ページ検索の向上を図る。新型コロナウイルス感染症ポータルサイトをホームページ内に構築し、コロナに関する情報を発信。

アクセス数：9,730,284件(年間)、810,857件(月平均)

(2) 「フェイスブック」

平成23年10月から市公式Facebookを開設。市ホームページの補完的位置付けとし、イベント情報や動画など、交流促進につながる魅力ある情報を発信している。災害時などは、緊急情報なども発信する。

(3) 「三田市LINE公式アカウント」

令和3年10月18日から「暮らしに役立つ情報を届ける」というコンセプトのもと、緊急情報の一斉通知や、利用者の属性や希望する情報に応じたプッシュ型の情報配信で活用。

友だち登録者：5,151件(R4.3現在)

9 広報掲示板を活用した広報

公共施設や公園、主要各駅ターミナルに設置した広報掲示板(32カ所)に、市のイベントや啓発ポスターなどを掲示している。

貼付ポスター：年間13種類

10 新聞やテレビ・ラジオなどを通しての広報

(1) 市長記者会見(13回)、記者発表

(2) 週間行事予定表の配布

(3) 市政記者クラブ、テレビ、ラジオの取材協力

11 その他の広報

ニュースダイジェストの作成

12 案内地図「わがまちさんだ」の配布(H30.12発行)

歴史、三田八景、公共施設、歳時記等を掲載した市内案内用地図
市内11事業者の有料広告を掲載

- (1) 発行部数：20,000部
- (2) 活用：転入者に配布、公共施設の窓口で希望者に配布、各市視察・会議等で配布

13 市政刊行物の発行状況の把握

市政刊行物の発行状況等を把握するため登録番号を付し、効果的な広報の推進を図る。

- (1) 登録件数：105件
- (2) 登録内容：カード類1件、広報誌5件、小冊子21件、書籍5件、ステッカー1件、チラシ21件、ポスター23件、リーフレット28件

14 市政出前講座

市民の要請により市職員が出向き、市政のしくみや制度、手続き、事業などをわかりやすく説明し意見交換をする中で、市民の市政理解や関心を高め、行政と市民の協働のまちづくりを推進する。

〔事業概要〕

- (1) テーマ数：53項目
- (2) 開催方法：市民主体の講座として開催。市民が各講座の担当課に申し込み、調整のうえ開催
- (3) 開催実績：38回 1,008人が参加
- (4) 主な受講テーマ：「市民病院のこれからについて」、「ロコモって何？～ロコモ予防で健康寿命を延ばそう～」など
- (5) 主な受講団体：地縁団体(自治会、老人会など)、高校生など

未来戦略室 若者のまちづくり課

1 産官学地域連携推進事業

高等教育機関や企業等が有する豊かな人的、知的、物的資源を地域社会の課題解決に活かすため、市内外の大学、企業等と取り組みを進めた。

(1) 関西学院大学

「連携協力に関する協定」に基づき、下記事業を実施した。

ア 授業「情報化社会と人間」：三田市をフィールドに、学生が地域課題の解決策を考える総合政策学部等1～2回生対象の授業に当課職員がメンターとして全回参加。

イ その他、市との連携・協力事業 22件

※ オープンセミナーは、新型コロナウイルスの影響により春季・秋季とも中止となった。

(2) 湊川短期大学

「連携協力協定」に基づき、連携・協力事業 9件を実施した。

※ 市民大学は、新型コロナウイルスの影響により中止となった。

(3) その他の連携協定 <締結先(連携事業件数)>

ア 神戸親和女子大学 (4件)

イ 神戸医療福祉専門学校三田校 (4件)

ウ 兵庫教育大学 (5件)

エ 株式会社官民連携事業研究所 (令和3年8月16日協定締結)

オ 兵庫県信用組合 (令和3年8月17日協定締結)

カ 株式会社オプテージ (令和3年11月8日協定締結)

(4) 学生のまち推進事業

市内外の学生が三田のまちに集い、学生の自由な発想に基づいた自主的な活動が活発に行われる「学生のまち三田」を目指した事業を実施。

ア 学びの都三田づくり支援団体制度

採択団体 : こみんか学生拠点

助成金額 : 308,781円

イ 三田学生サミット(発表会&交流会)

企画・実施 : こみんか学生拠点

日時 : 令和4年2月13日(日) オンライン開催

発表団体 : 10団体

交流会参加者 : 学生29人、社会人30人(合計59名)

ウ 学生への食品無償支援

経済的に困窮する市内で一人暮らしをする学生に対して、NPO法人場とつながりの研究センターと連携し、食品支援を継続的に行っている。なお、配布食品・食材は市内農家、企業、市民などからの寄付によるもの。

①日時：令和3年11月5日(金)～7日(日)

場所：市役所本庁舎1階ロビー

受取人数：236人

②日時：令和4年1月21日（金）、22日（土）、27日（木）

場所：21・22日は市役所本庁舎1階ロビー、27日は湊川短期大学

受取人数：253人

※令和4年1月22日には、配布する食品を市民から募るため市内スーパーを会場にフードドライブを実施した。

(5) 学生応援！お食事クーポン事業

長引く新型コロナウイルス感染症の影響を受け、精神的・経済的に不安を感じながら親元を離れ一人暮らしをしている学生（大学・専門学校生）に対して、三田市内の飲食店利用券3000円分（市外学生はお米券との選択制）を応援メッセージと合わせて届けることで、学生に寄り添う支援を行った。（令和3年11月22日～令和4年2月10日受付）

ア 市内に一人暮らしをする学生向け（申込数：958件）

イ 三田市出身の市外に一人暮らしをする学生向け（申込数：406件）

(6) 青少年健全育成事業（成人式）

日時場所：令和4年1月9日（日）郷の音ホール

対象：平成13年4月2日～平成14年4月1日生まれの者

対象人数：1,148人 参加者：887人（午前456人・午後431人）

※新型コロナウイルス感染対策のため、2部制で実施。

その他：新成人のアイデアとサポートを求めるために「成人式サポーター」を募集。応募した6名が、令和4年1月の成人式の一部企画の検討や代表あいさつ等を行った。

2 移住UIJターン促進事業

(1) 移住ポータルサイト（さんだうえるかむサイト）の運営

(2) 移住相談窓口「Sanda住まいる」

コロナ時代の住みよいまちとして広く三田をアピールし、新たな移住定住ニーズに応えるため、一元的な移住定住相談窓口を設置している。令和3年度は71件の相談（窓口・電話・オンライン相談）があった。

(3) さんだ住まいるチームメンバー

三田市に転入（移住）を希望する方や関心をもっている方の相談員として移住キャンペーン等に参加するとともに、主に市外への広報員として市の魅力や移住に関する情報の発信を行い、移住・交流の促進を図る。

構成：三田市在住の10名（新規3名、継続7名）

任期：令和3年9月～令和4年8月

活動実績：意見交換会（オンライン） 実施日：令和3年9月30日（木）

オンライン移住相談対応

三田市移住定住施策へのアドバイス

(4) 移住促進PR動画の作成

豊富で良質な住宅ストックや豊かな自然環境など本市の良好な住環境と、神戸大阪圏まで1時間以内で移動できる地理的優位性など、コロナ時代の住みよいまちとして三田市をPRするため、イメージ動画を作成。

(5) 移住促進 WEB 広告配信

主として京阪神地区に居住する子育て世帯及び子育て世帯予備軍となるおよそ 20 歳から 39 歳で賃貸住宅に居住する人を対象に、三田市への移住を促進するための広告をインターネット上で配信した。結果は、合計 146 万回表示、クリック率は 0.31% で、移住相談に大阪府在住者が大幅に増えた。

(6) 地域活躍人材育成プログラム（三田スモカモス・プロジェクト）

市内の企業等が抱える課題解決を通じて大学生が地域社会との接点を持ち、大学生自身が三田市を舞台に「本当にやりたいこと」を発見・実現する方法を考え、実践に導くことにより、若者が地域に関わり三田に愛着を持つことで定住・Uターン志向の醸成につながるモデルの確立をめざす。

参加人数：11 名

協力企業：13 社

ア ワークショップ

日程：令和 3 年 10 月 2 日（土）、11 月 21 日（日）、12 月 5 日（日）、
令和 4 年 1 月 16 日（日）

イ 学生の市内企業 活動体験（10 月）

ウ 成果発表会

日程：令和 4 年 2 月 20 日（日）

エ ワークショップ最終発表会

日程：令和 4 年 3 月 5 日（土）

(7) オンライン移住体験ツアー

ア 「なぜ私たちは高平地区へ来たのか。」

日程：令和 3 年 9 月 20 日（月・祝）

内容：自然豊かな里山エリアで、移住して農業や加工食品を製造販売しながら古民家で暮らす 30 歳代女性の生活やリアルな体験談を紹介。

参加人数：32 名

イ 「ニュータウン暮らし・妄想休日」

日程：令和 4 年 2 月 26 日（土）

内容：まちのエリアと里山のエリアが隣接しており、二つの地域間の移動や交流が容易な三田の地の利を、休日の過ごし方という視点で市内各地のスポットから紹介。関西学院大学の学生が司会や中継リポートを行った。

参加人数：12 名

(8) NPO 法人兵庫空き家相談センターとの連携

良質な住宅ストックが世代を超えてつながることで、オールドタウン化抑制と農村部の活性化を図るため、空き家・中古住宅(住宅ストック)の活用を推進を図る。

ア 住まいを考えるセミナー

①日程：令和 3 年 12 月 11 日（土）

場所：フラワータウン市民センター

参加人数：23 人

個別相談件数：4 件

②日程：令和4年3月6日（日）

場所：有馬富士共生センター

参加人数：39人

個別相談件数：6件

イ 住まいの相談会

日程：令和3年6月16日（水）以降、毎月第3水曜日

年間相談件数：12件

ウ 国土交通省補助事業「空き家流通モデルの構築～FPによるライフプラン支援と女性視点によるまちのリブランディング～」(フラワータウンで実施)

○住み替え促進

- ・新たな視点として高齢者福祉分野の相談にあたる地域包括支援センターとの連携による「空き家出前セミナー」を実施。
- ・学生によるフラワータウン戸建て住宅の「空き家調査」を実施。
- ・ファイナンシャルプランナーによるセミナーを開催。

○女性視点のリ・ブランディング

- ・「都市（まち）づくり」について女性視点からの意見をまとめフラワータウンをリ・ブランディングするためのワークショップを実施。女性ならではの意見を集約。

(9) 三田移住支援事業補助金

兵庫県と共同で国の交付金を活用した、東京圏からの移住を伴う就業・起業家に対する補助金。

対象：東京圏（東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県）から三田市へ移住し、該当の中小企業へ就職した者、起業した者

補助額：世帯の場合は100万円、単身の場合は50万円

実績：0名（0円）

(10) うえるかむ三田支援事業補助金

三田市への移住を検討するために、三田市に宿泊する者に対する補助金。

対象：東京圏（東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県）から、カムバックひょうご東京センターを通じて移住を目的に三田市を訪問する者

補助額：1人1泊につき10,000円（上限2泊、1世帯2人まで）

実績：4世帯8名（102,500円）

(11) 在宅ワーク環境整備補助（令和3年6月1日施行）

在宅ワークに最適なまちとしてアピールし移住促進を図るため、住宅ストック（中古住宅）購入のインセンティブとして在宅ワーク環境の整備に要した費用に対する補助金。

対象：下記①～③のすべてを満たす者

- ①若年世帯（夫婦合計80歳未満）又は子育て世帯、40歳未満の独身者
- ②市内の中古住宅購入者（中古の一戸建て又は集合住宅）
- ③市外からの移住者かつ移住相談窓口の経由者

補助額：補助率1/2、上限25万円

実績：2件（265,000円）

スマートシティ推進課

1 さんだ里山スマートシティに係る企画、立案及び総合調整に関すること。

(1) さんだ里山スマートシティ構想の策定に関すること

ア さんだ里山スマートシティアイデアボックス

オンラインフォームを活用してスマートシティに関するアイデアを募集

募集期間：令和3年4月～令和4年1月

投稿人数：延べ21人

イ さんだ里山スマートシティに関するアンケート調査

実施期間：令和3年10月1日～令和3年10月15日

調査方法：無作為抽出による18歳以上の市民に郵送配布

回答総数：1,585件（回答率53.0% ※有効配布数2,993件）

ウ さんだ里山スマートシティワークショップの開催

実施日：令和3年11月20日、令和3年11月21日

開催場所：三田市役所本庁舎

対象：15歳以上の市内在住・在勤・在学者から公募

参加者数：11月20日：21名、11月21日：21名

内容：「住んでいて困っていること」、「住みやすいまちってどんなまち？理想のまちは」、「デジタル技術やデータ活用で理想の街を考えよう」をテーマとしたワークショップ。

エ さんだ里山スマートシティ構想（案）の市民意見の募集

募集期間：令和4年1月28日～令和4年2月28日

提出意見：13名（33件）

オ さんだ里山スマートシティロゴマークの公募

さんだ里山スマートシティのシンボルとして活用するためのロゴマークを公募し決定した。

募集期間：令和4年1月24日～2月28日

応募総数：16作品

(2) さんだ里山スマートシティの推進に関すること

ア スマートシティ・デジタル推進本部（庁内推進体制）会議の開催

本部長：市長、副本部長：副市長（CIO）、本部員：政策会議出席者

開催回数：計6回

イ 神戸大学大学院（ITスペシャリストコース）とのPBL連携に関する取組み

・さんだ親子防災ノートのWEBアプリ版の開発と実証実験

・WEBアプリまちあるきゲーム「モイ！SANTA QUEST」の開発と実証実験

ウ 遠隔相談窓口サービス「リモート市役所」実証実験

遠隔相談専用のボックスから市役所本庁の職員とオンライン相談が出来る

仕組みについての実証実験

設置場所：ウッディタウン市民センター

実験開始：令和4年2月28日～

エ 携帯電話事業者等との連携したスマホ教室の実施

・各ショップでのスマホ教室の実施（無償）

・地域団体へのスマホ講師の派遣（無償）

オ 市内スマートシティセミナーの開催

開催回数：計4回

(3) さんだ里山スマートシティ官民共創プラットフォームの設置・運営に関すること

ア 会員募集及び情報収集・提供に関すること

令和3年度末時点会員数

共創会員：43団体 一般会員：10団体

イ 官民共創プラットフォーム運営委員会

市、企業、団体等から委員を選出。さんだ里山プラットフォームの運営に関する協議を行う。

委員数：9人（市含む）

開催回数：計3回

ウ スマートシティ分野別部会の設置推進

令和3年度中に計9部会を設置

デジタル戦略課

- 1 情報政策の企画、立案及び推進に関すること
 - (1) R P Aシステム再構築
 - (2) コンピュータウイルス対策ソフト環境再構築
 - (3) 兵庫県電子自治体推進協議会
 - ・ 県下市町共同で効率的な電子自治体の推進を図るための協議
 - ・ 自治体情報セキュリティの抜本的強化を図るための協議
 - (4) 新人研修（グループウェア、情報セキュリティ研修）
 - (5) 外部専門研修（情報セキュリティ）
 - (6) D X推進研修（D X研修、E B P M研修、R P A操作研修）

- 2 情報システムの開発・導入、運用管理及びこれらに係る指導並びに助言に関すること
 - (1) 番号制度改正に伴うシステム改修
 - ・ 番号連携サーバー
 - ・ 健康管理
 - ・ 児童手当、児童扶養手当
 - (2) 住民基本台帳関係システム
（住民記録、印鑑登録、国民年金、選挙、教育関連、住基ネット）
 - (3) 税情報関係システム
（市県民税、固定資産税、軽自動車税、国民健康保険税、法人市民税、税収納、滞納繰越管理等）
 - (4) 福祉・健康システム
（国民健康保険、後期高齢者医療、児童手当、児童扶養手当、介護保険、生活保護、障害福祉、健康管理）
 - (5) 財務会計関係システム
（予算編成、執行・歳入歳出管理、予算管理）
 - (6) グループウェア・インターネットシステム
（電子メール、会議室予約、スケジュール管理、庁内電子掲示板、インターネット仮想化、ビジネスチャット等）
 - (7) その他
（人事給与、人事評価、就業管理、戸籍・除籍、契約業者管理等）
 - (8) マイナンバー制度における情報連携の運用
 - (9) 担当課からの依頼に基づく業務処理件数
（定例的な処理－2，212件、プログラム開発変更を伴うもの－21件）
 - (10) 廃棄パソコン等の売払い（計147台、299,160円）

- 3 地域イントラネットワークシステムの運用管理に関すること
 - (1) 高速ネットワークの維持管理

幹線ループ 1 Gbps、支線ネットワーク 学校 1 Gbps 学校以外 1 0 0 Mbps
 主な公共施設（18ヶ所）及び市立小中学校（28ヶ所）に接続

(2) 公共施設案内予約システム

対象施設（体育施設5ヶ所、文化施設13ヶ所）

(3) 議会本会議中継配信システム（各市民センター等へ実況中継）

(4) 教職員学校備品管理システム

(5) 教職員校務用資産管理システム

(6) 教職員校務用グループウェア

(7) 校務支援システム

4 情報セキュリティ対策の推進に関すること

(1) 情報セキュリティ推進会議

ア 情報セキュリティ対策実施計画の策定及び実施状況の確認

(2) 情報セキュリティ対策（人的、技術的、物理的）の実施及び推進

ア eラーニングによる情報セキュリティ研修【履修者延べ477名】

イ 情報セキュリティ集合研修【受講者26名】

ウ オンライン研修【受講者53名】

エ 職場点検

5 その他

(1) 設置台数（R4.3.31現在）

	庁内ネットワーク	地域イントラ（行政系）
サーバ	139台	22台
パソコン	1,381台	49台

(2) 電子申請システム利用実績

ア 電子申請システム（※令和3年1月より開始）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
手続数	-	10手続	137手続
利用件数	-	112件	44,005件

イ ぴったりサービス

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
手続数	11手続	11手続	11手続
利用件数	11件	100件	185件

ウ ホームページからのメールフォームによる申請

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
手続数	1手続	1手続	1手続
利用件数	100件	51件	90件

(3) 三田市施設予約案内システム利用実績（予約申込み件数）

予約方法	令和元年度	令和2年度	令和3年度（割合）
職員端末	47,852 件	42,451 件	46,621 件（30.5%）
インターネット	90,544 件	89,150 件	99,427 件（65.1%）
携帯電話	4,366 件	4,484 件	3,921 件（2.6%）
街頭端末	1,355 件	3,131 件	2,723 件（1.8%）
合 計	144,117 件	139,216 件	152,692 件（100%）

(4) オープンデータ公開実績

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
公開オープンデータ	144 件	158 件	169 件

地域医療推進課

1 市民病院改革プラン推進事業

三田市民病院改革プランに基づき、市民病院の経営形態の見直し並びに、再編・ネットワーク化についての検討を進めた。

(1) 北神・三田地域の急性期医療の確保に関する検討委員会

北神・三田地域の将来的な医療需要及び医療提供体制や、現状の課題等を踏まえ、済生会兵庫県病院と三田市民病院との再編統合も視野に入れ、当該地域の急性期医療を将来にわたって維持・充実させるための方策を検討するにあたり、専門的な見地及び市民の立場から幅広く意見を求めることを目的として神戸市と共同設置した。

回	開催概要
第1回	日時：令和3年6月4日（金） 議題：（1）会議の趣旨・スケジュールについて （2）済生会兵庫県病院と三田市民病院の現状と課題について
第2回	日時：令和3年8月12日（木） 議題：（1）北神地域、三田地域の現状と課題について
第3回	日時：令和3年10月21日（木） 議題：（1）北神・三田地域に必要な医療機能 （2）急性期医療確保方策
第4回	日時：令和4年1月7日（金） 議題：（1）急性期医療確保方策
第5回	日時：令和4年3月3日（木） 議題：（1）報告書(案)

報告書 受理	日時：令和4年3月25日（金）
-----------	-----------------

(2) 市民病院に関する市民意見交換会

1. 開催期間

令和4年1月15日（土）～3月12日（土）

2. 実施回数

25回

3. 参加人数

157人

4. 開催回数及び参加人数

地区	回数	人数	会場
三田地区	2	5	三田市民センター
三輪南部地区	4	8	まちづくり協働センター
三輪北部・小野地区	1	11	有馬富士共生センター
広野地区	1	5	広野市民センター
高平地区	2	5	高平ふるさと交流センター
藍地区	3	20	藍市民センター
本庄地区	1	10	ふれあいと創造の里
フラワータウン地区	5	38	フラワータウン市民センター
ウッディタウン・ カルチャータウン地区	6	55	ウッディタウン市民センター
合計	25	157	